

授業料等不徴収協定に基づく派遣交換終了報告書

所属(本学)	大学院理工学研究科 生体分子機能工学専攻		
現在の学年	修士 2 年		
留学先国	アメリカ合衆国	留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校
留学期間	2014 年 8 月 21 日～2015 年 5 月 29 日		

① 留学先大学の概略

アメリカ、カリフォルニア州の北部に位置する 1868 年創立の名門公立大学で、世界大学ランキングにも4位にランクインしている。

② 留学前の準備

修士一年の夏より留学を開始しました。就職活動や、現地での研究活動は卒業要件に加味されないことを考慮し、卒業を一年遅らせました。

入学当初から、漠然と留学をしたいとは考えており、スピーキングの授業をとるなど語学の準備は少ししていましたが、本格的に留学に向けて動き出したのは、学部4年生の6月位だったと思います。

留学するにあたって、最も苦労したのが、留学先大学の指導教員とコンタクトを取ることでした。研究室に所属し、研究を行いたい旨を伝えるメールを指導教員に何度も送っても、全て無視されました。Faculty Administrator を経由してメールを教授に送ってもらうことで、ようやく返信を頂くことが出来ました。多忙なため、他国の何のコンネも無い学生のメールを相手にしている暇がなかったのだと思います。

③ 留学中の勉学・研究

単位を取得できないプログラムだったので、聴講という形で講義に参加していました。講師やTA に申し出れば、単位を申請しなくても、申請している人と同様に課題やグループワークに参加できたので、もっと積極的に活用すればよかったと少し後悔しています。

研究は一つの巨大なプロジェクトの中にある研究テーマを与えられました。イギリスの研究者とスカイプでミーティングをするなど、新鮮な経験でした。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

寮の友人に連れられてアメリカの色々なところを旅行しました。学期間の休暇を利用して、南カリフォルニアに行ったり、冬はスノーボードをしたりしました。他にも、ニューヨークやワシントン D.C、アリゾナ、アラスカなど州外も観光し、とても充実していました。

キャンパスには体育館やテニスコートなどのスポーツ施設も充実しており、頻繁に利用していました。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

未知の環境に飛び込むことへの不安が以前より無くなりました。また、慣れない環境の中で、受け身にならず、主体的に関わることの重要性を学びました。私は、留学先では研究室に所属していましたが、最初は周囲の様子を見ることに徹していました。加えて、英語に自信がなかったため、積極的に研究室の人間と関わろうとしていませんでした。日本からの学生ということで、歓迎されて、向こうから話しかけてくることを期待していたのだと思います。しかし、実際は想像したようにはいかず、研究室のメンバーの多くが僕に対して無関心だったように感じました。研究にアドバイスを貰えなかったため、上手いかず、歯がゆい日々が続きましたが、自分が変わらなければ留学

にきた意味がないと一念発起しました。下手な英語でも伝わればいいと、研究室の会話に半ば強引に入っていました。結果的に、その努力が功を奏し、研究室の環境に溶け込むことが出来、研究に関するアドバイスも色々貰えるようになりました。そうすると、会話の機会も増え、自然と英語力も向上し、研究に関しても積極的に発言できるという相乗効果も得られました。

⑥ 留学費用

トビタテ留学 JAPAN というプログラムから奨学金を貰い、生活費、渡航費等すべてをまかしました。バークレーは近年地価がすごい勢いで上昇しているらしく、家賃だけで奨学金は消えてしまいました。寮で食事は出るので、食費はそこまでかかりませんでした。

⑦ 留学先での住居

留学先大学が推奨する寮に住みました。手続きも寮のホームページに従い行ったので苦労はしませんでした。私は1年間シングルルームに住んでいたためルームメートはいませんでした。

⑧ 留学先での語学状況

最初は苦労しました。語学試験で多少良い点を取っていたとしても留学経験がないのであれば、苦労すると思います。私自身は会話についていけるようになったのは滞在3か月目以降でした。

⑨ 単位認定、在学期間

留学先の研究活動は、本大学の修士の研究に含まれないので1年間の在学延長を行いました。

⑩ 就職活動

2017年に卒業するので、就職活動は通常の学生より1年遅れてスタートする予定です。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

金銭面で苦労はしましたが、それ以外は特にありません。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

準備は早ければ早い方がいいです。奨学金は早いものは留学開始時期の1年以上前から締め切っているものもあり、留学をしようか迷っている段階でも応募してみるべきだと思います。僕は、準備が遅く、奨学金に関する情報を調べる時間があまりありませんでした。大学からの紹介でトビタテを知り、応募し、奨学金を受け取ることが出来ましたが、他にも色々応募しておくべきだったと反省しています。語学に関しても、留学前に取得しておかなければならない語学試験のスコアは最低限であって、それに向けて勉強することは当たり前です。それに加えて、留学を円滑に進めて、実りあるものにするためには、現地で通用する語学力をできるだけ前もって身に付けておくべきです。もちろん、留学中に語学力は成長しますが、最初で躓かないためにも、実践的な力を養っておいください。会話力は急には成長しないので、オンライン英会話などを利用してコンスタントに練習するのがいいと思います。

留学中のアドバイスとしては、時間を大切に使うことだと思います。他国で勉強、生活するという経験を最大限に利用するにはどうしたらいいのかを自分なりに考えて行動してください。そうすれば悔いの無い留学生活が遅れるはずですよ。